

# みんなのデジタルリポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

## 参考文献

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-07-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10502/00009824">http://hdl.handle.net/10502/00009824</a>

## 参考文献

(英語)

Gollins, Henry B., Jr.

1946 Anthropology during the War. II. Scandinavia, *American Anthropologist* 48(1): 141-144.

Morse, Ronald A.

1990 *Yanagita Kunio and the Folklore Movement: The Search for Japan's National Character and Distinctiveness*, New York: Garland Pub.

(日本語)

青木陸編

2008 『「日本実業史博物館」資料の高度活用 — 2007年度中間報告』人間文化研究機構総合推進事業連携研究。

明石貞吉

1933 「書評「日本民俗学論考」」『民俗学』5(4): 76-80。

1944 「たばこの火」『秋田魁新報』1944年8月25日付。

1947 「『天工開物』移入の年代考證」『草園』24: 8-10。

明石照男

1950 「序」渋沢青淵記念財団竜門社編『渋沢栄一伝記資料 第1巻』渋沢栄一伝記資料刊行会。

浅井恵倫・河部利夫・松本信広・綾部恒雄・清水潤三・八幡一郎・岩田慶治・長重九・宮本延人・江坂輝弥・浜田秀男・白鳥芳郎

1959 「東南アジア稲作民族文化総合調査 (連載2回)」『民族学研究』22(3-4): 245-268、23(1-2): 118-130。

東健一郎

2008 『近代奄美の郷土研究 — 永井竜一氏を中心に』東健一郎。

安達勇

1986 「アチック・ミュージアムのこと」『青淵』443: 45-46。

アチックミュージアム編

1935 「所謂足半 (あしなか) に就いて (予報一)」『民族学研究』1(4): 710-768。

1936 「所謂足半 (あしなか) に就いて (予報二)」『民族学研究』2(1): 115-245。

1937 『民具問答集 第1輯 (アチックミュージアムノート 第1)』アチックミュージアム。

1939a 『塩俗問答集 (アチックミュージアム彙報 第34)』アチックミュージアム。

1939b 『土佐室戸浮津組捕鯨史料 (アチックミュージアム彙報 第36)』アチックミュージアム。

天野武

1998 「民具マンスリー30周年の思い出(4) — 「第1回民具研究講座」前後 河岡武春氏のことなど」『民具マンスリー』30(11): 13-17。

天野寿雄・江木盛雄・森享太郎・三竹勇馬・真崎正路・小倉一二・岡野繁蔵・奥山銀茂・咲村快蔵・斎藤文也・田中淳一・大阪朝日新聞特派員

1940 「蘭印現地座談会 上・中・下」『大阪朝日新聞』1940年10月10日-12日付。

有馬真喜子

1976 「ひと 岩田慶治氏（東京工業大学教授）」『季刊人類学』7(3): 117-125。

1982 「ひと 鈴木二郎氏 東京造形大学学長」『季刊人類学』13(1): 143-152。

飯島茂

1960 「中部ネパールのタカリー族（Torbo 民族誌 その1）」『民族学研究』24(3): 175-196。

飯田卓・朝倉敏夫編

2017 『財団法人日本民族学協会附属民族学博物館（保谷民博）旧蔵資料の研究』国立民族学博物館。

五十嵐卓

1990 「史料紹介「芝崎家文書」について」『渋沢研究』2: 62-71。

池上隆祐

1959 「胡桃沢勘内」大間知篤三・岡正雄・桜田勝徳・関敬吾・最上孝敬編『口承文芸（日本民俗学大系 第10巻）』306-307ページ、平凡社。

池田哲夫

2013 「渋沢敬三と地方の民俗研究家—越後三面村 丹田二郎」『民具マンスリー』46(5): 1-16。

池田弥三郎・加藤守雄・岡野弘彦編

1968 『折口信夫回想』中央公論社。

五十沢二郎

1986 『中国聖賢のことは』講談社。

石井正己

2005 『遠野物語の誕生』筑摩書房。

石川県立郷土資料館編

1975 『長岡博男文庫蔵書目録』石川県立郷土資料館。

石田恵子

2010 「増田精一先生ご逝去」『オリエント』53(1): 150-151。

石光亨

1983 「田中薫先生の逝去を悼む」『地理学評論』56(6): 379-382。

井関弘太郎

1994 「喜多村俊夫先生のご逝去を悼む」『地理学評論』67(3): 147-148。

磯貝勇

1959 「高橋文太郎略伝」大間知篤三・岡正雄・桜田勝徳・関敬吾・最上孝敬編『生業と民俗（日本民俗学大系 第5巻）』406-407ページ、平凡社。

伊藤広之

1987 「アチックの民具研究と早川孝太郎—早川孝太郎の民俗品研究と民俗学（序）」『大阪市立博物館研究紀要』19: 14-34。

伊藤清司

1988 「松本信広—「南方説」の開拓者」綾部恒雄編『文化人類学群像3 日本編』225-242ページ、アカデミア出版会。

参考文献

伊藤敏雄

2010 「大正・昭和初期における大阪海陸協会の活動—河川・港湾との関わりを中心に」『経済学研究』41: 1-34。

『稲・舟・祭』刊行世話人編

1982 『稲・舟・祭—松本信広先生追悼論文集』六興出版。

井上円了

1915 『南船北馬集 第10編』国民道德普及会。

井上卓郎

2010 「郵政資料館所蔵資料概要」『郵政資料館研究紀要』1: 96-126。

井之口章次

2000 『生死の民俗』岩田書院。

2005 『歩く・見る・書く』岩田書院。

茨城町郷土史研究会編

1980 『茨城町と私の郷土研究—更科公護氏の業績』茨城町教育委員会。

岩坂純一郎編

1983 『玉岡松一郎先生著作目録』幕舎文庫。

岩田重則

2013 『宮本常一—逸脱の民俗学者』河出書房新社。

上田不二夫

1983 「照屋林頭」沖縄タイムス社編『沖縄大百科事典 中』857ページ、沖縄タイムス社。

上田正昭・西沢潤一・平山郁夫・三浦朱門編

2001 『日本人名大辞典』講談社。

上田正昭・西沢潤一・平山郁夫・三浦朱門監修

2015 『デジタル版 日本人名大辞典+Plus』講談社。

上原専禄

1944 『独逸近代歴史学研究』弘文堂。

1948 『歴史的省察の新対象』弘文堂。

1949a 『大学論』毎日新聞社。

1949b 『独逸中世の社会と経済』弘文堂。

1953a 『危機に立つ日本』未来社。

1953b 『民族の歴史的自覚』創文社。

1957a 『現代を築くところ』理論社。

1957b 『私の大学・世界の見方—現代をどう考えるか』理論社。

1958 『歴史意識に立つ教育』国土社。

1974 『死者・生者—日蓮認識への発想と視点』未来社。

1975 『クレタの壺—世界史像形成への試読』評論社。

蔚山博物館

2011 『75年ぶりの帰郷—1936年蔚山達里』（特別企画展図録）蔚山博物館。

江上波夫

1995 『学問と夢と騎馬民族—私の履歴書』日本経済新聞社。

江戸文学類従刊行会編

1929 『戯作者伝記集成』江戸文学類従刊行会。

愛媛新聞社出版部出版局編

1974 『愛媛年鑑 1974年版』愛媛新聞社。

王京

2008 『一九三〇、四〇年代の日本民俗学と中国』神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議。

大泉溥編

2003 『日本心理学者事典』クレス出版。

大賀一郎博士追悼文集刊行会編

1967 『蓮ハ平和の象徴也—大賀一郎博士を偲ぶ』大賀一郎博士追悼文集刊行会。

大阪民俗談話会

1934-1938 『大阪民俗談話会記録 第1集稿本』未公刊（成城大学民俗学研究所「柳田文庫」所蔵）。

大谷明史

2015 『洪沢敬三と竜門社—「伝記資料編纂所」と「博物館準備室」の日々』勉誠出版。

大月隆寛

1990 「「まるごと」の可能性—赤松啓介と民俗学の現在」『国立歴史民俗博物館研究報告』27: 167-200。

大西信良編

1957 『東京製綱株式会社七十年史』東京製綱株式会社。

大西伍一

1972 「吉田三郎君との出会い」三一書房編『日本常民生活資料叢書 月報4』1-2ページ、三一書房。

大貫良夫・加藤泰建・関雄二

2010 『古代アンデス—神殿から始まる文明』朝日新聞出版。

大嶺政寛

1983 「比嘉景常」『沖縄大百科事典 下』282ページ、沖縄タイムス社。

大村裕

2014 『日本先史考古学史講義』六一書房。

小笠原国雄

1996 『洪沢農場と三本木原の夜明け—水野陳好・杉本行雄両先生に仕えて』誠幸園印刷指導所。

岡田俊作

2011 『美日本地理学人物事典 近代編 I』原書房。

小川徹

1957 「南朝鮮の一農村における村落調査と民具について—1936年慶尚南道蔚山邑達里調査個人報告」『民族学研究』21(4): 259-269。

1979 「宮本馨太郎さんの横顔—アチック時代」物質文化研究会『貝塚』23: 3-4。

## 参考文献

小川正人・山田伸一編

1998 『アイヌ民族近代の記録』草風館。

2001 「十勝毎日新聞（1920-1939年）掲載アイヌ関係記事—目録と紹介(1)」『帯広百年記念館紀要』19: 1-42。

2002 「十勝毎日新聞（1920-1939年）掲載アイヌ関係記事—目録と紹介(2)」『帯広百年記念館紀要』20: 1-26。

興津喜四郎

2002 「常民史余話「アチックミュージアム」の滝波善雅さん」『常民研news』16: 3。

小熊博史

1998 「近藤勘治郎—越後の考古学研究の基礎を築いた」長岡市編『ふるさと長岡の人びと』162-164ページ、長岡市。

尾塩尚

1984 『天界航路—天野芳太郎とその時代』筑摩書房。

小野武夫博士還暦記念論文集刊行会編

1948 『東洋農業経済史研究』日本評論社。

小野沢正喜

2009 「人と学問 綾部恒雄—新分野開拓と体系化追求の人生」『社会人類学年報』35: 81-105。

海軍歴史保存会編

1995 『将官履歴（日本海軍史 第9-10巻）』第一法規出版。

外務省通商局編

1940 『海南島農業調査報告』日本国際協会。

鍵本文吾

2001 「ミヤジマトンボ発見の歴史的背景について」『TOMBO』43: 45-50。

鹿児島県姓氏家系大辞典編

1994 『鹿児島県姓氏家系大辞典』角川書店。

加治工真市

1983 「宮良当社」沖縄タイムス社編『沖縄大百科事典 下巻』607ページ、沖縄タイムス社。

加藤功

2012 「武蔵野郷土館と武野文化協会」『江戸東京たてももの園だより』40: 4。

加藤幸治

2011 『郷土玩具の新解釈』社会評論社。

神奈川大学日本常民文化研究所編

2011 『中村半二郎家文書目録』神奈川大学日本常民文化研究所。

金子總平

1937 『南会津北魚沼地方に於ける熊狩雑記（アチックミュージアムノート 第13）』アチックミュージアム。

金城朝永

1948 「伊波普猷先生の生涯とその琉球学」『民族学研究』13(1): 69-78。

金田進編

1959 「往年の名記者 松原久治」『山陰評論』12月号、29-30ページ。

- 金久好  
2014 『奄美大島に於ける「家人」の研究（他、大島郡状態書、封建治下に於ける奄美大島の農業、二編）』南方新社。
- 金山喜昭  
2001 『日本の博物館史』慶友社。
- 鎌田正  
2001 『大漢和辞典と我が九十年』大修館書店。
- 加茂幸男  
1992 『太田陸郎伝—民俗学者太田陸郎を語る玄圃梨の記』加茂幸男。
- 河合雅雄  
1961 『ゴリラ探検記—赤道直下アフリカ密林の恐怖』光文社。
- 川喜田二郎  
1961 「ネパール・ヒマラヤにおける2, 3の生態学的観察（トルボ民族誌 その3）」『民族学研究』25(4): 197-238。  
1966 「チベット族の一妻多夫(1) (Torbo 民族誌 その4)」『民族学研究』31(1): 11-27。
- 川添登  
2004 『今和次郎—その考現学』筑摩書房。
- 河田伸一  
1991 『河田杰（上・下）』河田伸一。
- 河部俊夫  
2002 『アジアするところ—異文化理解のあり方』玉川大学出版部。
- 癌研究会七十五年史編纂委員会編  
1989 『癌研究会七十五年史』財団法人癌研究会。
- 菅野新一監修（土橋慶三・西田峯吉編）  
1983 『こけし事典 改訂版』岩崎美術社。
- 菊地暁  
2001 『柳田国男と民俗学の近代—奥能登のアエノコトの二十世紀』吉川弘文館。
- 菊地照雄  
1969 『佐々木喜善—遠野伝承の人』遠野市立図書館。
- 喜多章明  
1987 『アイヌ沿革史—北海道旧土人保護法をめぐる』北海道出版企画センター。
- 北川隆吉編  
2000 『有賀喜左衛門研究—社会学の思想・理論・方法』東信堂。
- 北設楽郡木地屋研究会編  
1957 『奥三河の木地屋』愛知県教育委員会設楽教育事務所。
- 喜多野清一  
1967 「解説」及川宏『同族組織と村落生活』263-278ページ、未来社。
- 木下順二  
1996 「小泉八雲と丸山学先生」丸山学『小泉八雲新考』217-225ページ、講談社。

## 参考文献

木下忠

- 1989 「解説 [アチックミュージアムと運搬法・運搬具の研究]」木下忠編『背負う・担ぐ・かべる (双書フォークロアの視点7)』192-195ページ、岩崎美術社。

木村裕樹

- 2012 「樋畑雪湖の楊枝コレクション (一)」『民具マンスリー』45(3): 22-24。

金田一京助

- 1968 『私の歩いて来た道—金田一京助自伝』講談社。

久保威夫監修 (佐々木源蔵編)

- 1952 『通信博物館五十年史』郵政省通信博物館。

窪田涼子

- 2003 「アチックミュージアム日誌(2)」『歴史と民俗』18: 239-292。

クライナー、ヨーゼフ編

- 2013 『日本民族学の戦前と戦後—岡正雄と日本民族学の草分け』東京堂出版。

倉内史郎・伊藤寿朗・小川剛・森田恒之編

- 1981 『日本博物館沿革要覧 (野間教育研究所紀要別冊)』財団法人野間教育研究所。

グロート、ジェラード・篠遠喜彦

- 1952 『姥山貝塚』日本考古学研究所。

京阪神急行電鉄事業部編

- 1959 『日本民俗博記念アルバム』京阪神急行電鉄事業部。

公益財団法人東京都歴史文化財団 江戸東京博物館 江戸東京たてもの園編

- 2013 『江戸東京たてもの園 (案内パンフレット)、公益財団法人東京都歴史文化財団・江戸東京博物館 江戸東京たてもの園。

幸野辰夫

- 1936 「螢草」齊藤英俊編『日本放浪詩集』74ページ、詩壇タイムス社。

- 1943 「雀」河西新太郎編『詩と随筆選集』133ページ、桜書房。

国立民族学博物館編

- 2013 『渋沢敬三没後50年 屋根裏部屋の博物館 Attic Museum』淡交社。

小島摩文

- 2015 「アチックフィルムにみる民具」『国際常民文化研究叢書』10: 219-243。

拵嘉一郎

- 2007 『渋沢敬三先生と私—アチック・ミュージアムの日々』平凡社。

後藤総一郎編

- 1986-1987『柳田国男研究資料集成 (全22巻)』日本図書センター。

小西雅徳編

- 2000 『石田収蔵—謎の人類学者の生涯と板橋』板橋区立郷土資料館。

小林光一郎

- 2014a 「渋沢敬三が組織する共同研究—昭和九年薩南十島調査を事例に」ヨーゼフ・クライナー編『日本とは何か—日本民族学の二〇世紀』133-135ページ、東京堂書店。

- 2014b 「アチック同人から見るアチック・ミュージアム研究史—藤木喜久馬を事例に」『民具研究』150: 67-90。

- 2015a 「アチック・ミュージアムの研究における渋沢敬三のポジション—イトマン・出漁・移動を事例に」 神奈川大学国際常民文化研究機構編『国際常民文化研究叢書10 アチックフィルム・写真にみるモノ・身体・表象 [論文編]』109-159ページ、神奈川大学国際常民文化研究機構。
- 2015b 「渋沢敬三における民具観の変遷」『歴史と民俗』31: 271-310。
- 2018 「アチックにおける隠岐調査—アチック研究史における隠岐調査の位置づけ」 神奈川大学国際常民文化研究機構編『国際常民文化研究叢書26 アチック・ミュージアムの調査活動に関する基礎研究「隠岐」調査の検証・分析と民俗学的考察』189-205ページ、神奈川大学国際常民文化研究機構。
- 今和次郎 (藤森照信編)  
1987 『考現学入門』筑摩書房。
- 今和次郎 (畑中章宏・森かおる編)  
2011 『今和次郎 採集講義』青幻舎。
- 玉岡松一郎先生古稀記念論集刊行会編  
1984 『玉岡松一郎先生古稀記念論集』玉岡松一郎先生古稀記念論集刊行会。
- 近藤雅樹  
2007 「オシラサマ・コレクション」国立民族学博物館編『世界を集める—研究者の選んだみんぱくコレクション』12-13ページ、国立民族学博物館。
- 2013a 「中村俊竜智 民博名誉教授を偲ぶ」『月刊みんぱく』37(3): 16。
- 2013b 「今和次郎と石黒忠篤、渋沢敬三」KAWADE 道の手帖編『今和次郎と考現学—暮らしの“今”をとらえた〈目〉と〈手〉』176-179ページ、河出書房新社。
- 近藤雅樹編  
2001 『図説 大正昭和くらしの博物誌—民族学の父・渋沢敬三とアチック・ミュージアム』河出書房新社。
- 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構編  
2000 『馬場・児玉コレクションにみる北の民—アイヌの世界』財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構。
- 2012 『収藏品目録7 石田收藏旧蔵写真』財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構。
- 財団法人海軍歴史保存会編  
1995 『日本海軍史 将官履歴 (下)』第一法規出版。
- 財団法人日本常民文化研究所  
1954 「日本常民文化研究所の沿革」『常民文化研究』69: 320-321。
- 財団法人民族学振興会編  
1984 『財団法人民族学振興会五十年の歩み—日本民族学集団略史』財団法人民族学振興会。
- 斎藤忠  
2006 『日本考古学人物事典』学生社。
- 酒井忠治  
1987 「致道博物館の運営について」『博物館研究』22(1): 52-55。
- 酒井董美  
1978 「森脇太一氏を偲ぶ」『民話と文学』3: 110-111。

## 参考文献

坂井友直編

1977 『奄美人国記 第2巻』 ルーツ出版社。

堺民俗研究会

1968 『左海民俗 二十周年記念号』 堺民俗研究会。

阪谷芳直

1979 『三代の系譜』 みすず書房。

坂野徹

2010 「考古学者・甲野勇の太平洋戦争」 神奈川大学国際常民文化研究機構編『国際常民文化研究叢書4 第二次大戦中および占領期の民族学・文化人類学』141-154ページ、神奈川大学国際常民文化研究機構。

桜田勝徳・山口和雄

1935 『隠岐島前漁村探訪記隠岐調査報告1 (アチックミュージアムノート 第4)』 アチックミュージアム。

1936 『美保関・広島三津・伊予大三島漁村探訪記 (アチックミュージアムノート 第5)』 アチックミュージアム。

桜田勝徳・荒井貢二郎

1973 「第十一巻 関東北陸編(1)解説」 日本常民文化研究所編『日本常民生活資料叢書 第11巻』930-931ページ、三一書房。

佐々木利和編

2001 『久保寺逸彦著作集1—アイヌ民族の宗教と儀礼』 草風館。

2004 『久保寺逸彦著作集2—アイヌ民族の文学と生活』 草風館。

佐々木宏幹

1988 「古野清人—冷徹とロマンの宗教人類学」 綾部恒雄編『文化人類学群像3 日本編』アカデミア出版会。

佐藤達哉・溝口元

1997 『通史 日本の心理学』 北大路書房。

佐藤久一郎

1961 「追悼 岡本信三氏」『山岳』55: 173-174。

佐野真一

2009 『旅する巨人—宮本常一と渋沢敬三』 文藝春秋。

沢田四郎作

1958 「太田陸郎伝」大間知篤三・岡正雄・桜田勝徳・関敬吾・最上孝敬編『生活と民俗 I (日本民俗学大系 第6巻)』392-393ページ、平凡社。

産業組合中央会編

1929 『産業組合調査資料 第32輯 模範産業組合員事績』 産業組合中央会。

自彊会

1935 『創立十周年記念誌』

雫石町立図書館

1992 『田中喜多美文庫資料目録1 原稿・古文書・古文書資料』 雫石町立図書館。

篠遠喜彦・梅棹忠夫

- 1980 「太平洋の研究センター」梅棹忠夫編『博物館の世界——館長対談』251-271ページ、中央公論社。

柴山芳隆

- 2003 「武藤鉄城——地方史探究の先覚者」『先蹤録』刊行委員会編『先蹤録——秋田高校の歴史にみる人物像』280-286ページ、秋田県立秋田高等学校同窓会。

渋沢和雄

- 1985 『わが父 渋沢秀雄』あずさ書店。

渋沢敬三

- 1933a 『犬歩当棒録』郷土研究社。  
1933b 『祭魚洞雑録』郷土研究社。  
1955a 「跋」『出藍録 三木産業小史』三木産業株式会社。  
1955b 『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社。  
1961 『犬歩当棒録』角川書店。  
1992a 『渋沢敬三著作集 第1巻 祭魚洞雑録／祭魚洞雑考』平凡社。  
1992b 『渋沢敬三著作集 第3巻 犬歩当棒録／東北犬歩当棒録』平凡社。  
1993a 『渋沢敬三著作集 第4巻 南米通信／雁信集・旅譜と片影』平凡社。  
1993b 『渋沢敬三著作集 第5巻 未公開論文・随想／年譜・総索引』平凡社。

渋沢敬三編

- 1937 『豆州内浦漁民史料 上巻（アチックミュージアム彙報 第20）』アチックミュージアム。

渋沢敬三先生景仰録編集委員会編

- 1965 『渋沢敬三先生景仰録』東洋大学。

渋沢敬三伝記編纂刊行会編

- 1979 『渋沢敬三 上』渋沢敬三伝記編纂刊行会。  
1981 『渋沢敬三 下』渋沢敬三伝記編纂刊行会。

渋沢史料館編

- 1988 『特別展図録 屋根裏のはくぶつかん——渋沢敬三と民俗学』渋沢史料館。  
2011 『法学者・穂積陳重と妻・歌子の物語——渋沢栄一のひ孫・穂積重行氏オーラルヒストリーから』渋沢史料館。  
2013 『祭魚洞祭』渋沢史料館。

渋沢青淵記念財団竜門社

- 1984 「渋沢秀雄氏略年譜」『青淵』426（渋沢秀雄氏追悼号）：30-31。  
1994 「竜門社だより」『青淵』540：56。

渋沢青淵記念財団竜門社編

- 1957 『渋沢栄一伝記資料 第15巻』渋沢栄一伝記資料刊行会。  
1959 『渋沢栄一伝記資料 第26巻』渋沢栄一伝記資料刊行会。  
1960a 『渋沢栄一伝記資料 第29巻』渋沢栄一伝記資料刊行会。  
1960b 『渋沢栄一伝記資料 第30巻』渋沢栄一伝記資料刊行会。  
1962 『渋沢栄一伝記資料 第41巻』渋沢栄一伝記資料刊行会。  
1964a 『渋沢栄一伝記資料 第54巻』渋沢栄一伝記資料刊行会。

## 参考文献

- 1964b 『渋沢栄一伝記資料 第57巻』 渋沢栄一伝記資料刊行会。
- 1967 『渋沢栄一伝記資料 別巻第4』 渋沢栄一伝記資料刊行会。
- 澁澤倉庫株式会社社史編纂委員会編
- 1977 『澁澤倉庫の80年Ⅱ』 澁澤倉庫株式会社社史編纂委員会。
- 渋沢雅英編
- 1968 『偲信抄』 文照社。
- 島蘭進
- 1995 「加藤玄智の神道学的宗教学の形成」『明治聖徳記念学会紀要』 16: 71-93。
- 島袋源七
- 1949 「伊波先生を学ぶ者」『文化沖繩』 10: 1。
- 清水建設株式会社編
- 1953 『清水建設百五十年』 清水建設。
- 2003 『清水建設二百年 経営編』 清水建設。
- 社団法人 日本博物館協会編
- 1978 『全国博物館総覧 上巻』 ぎょうせい。
- 衆議院事務局編
- 1949 『第6国会衆議院地方行政委員会議事録 第2号』 衆議院事務局。
- 十六銀行編
- 1978 『十六銀行百年史』 十六銀行。
- 東海林貞吉
- 1937 「マツヤニローソク〔秋田県〕」アチックミュージアム編『民具問答集 第1輯（アチックミュージアムノート 第1）』アチックミュージアム。
- 上智大学英文学科・英語学科
- 1973 『英文学と英語学 第9巻 青木巖名誉教授・山口精二助教授追悼号』上智大学英文学科・英語学科。
- 人事興信所編
- 1937a 『第十一版 人事興信録（上）』 人事興信所。
- 1937b 『第十一版 人事興信録（下）』 人事興信所。
- 1941 『第十三版 人事興信録（上）』 人事興信所。
- 1977 『第廿九版 人事興信録（上）』 人事興信所。
- 1993 『第37版 人事興信録』 人事興信所。
- 杉山晃一
- 1988 「石田英一郎—人と文化の巨視的探求者」綾部恒雄編『文化人類学群像3 日本編』 311-331ページ、アカデミア出版会。
- 鈴木醇先生記念出版会編
- 1973 『鈴木醇—人とその背景』 鈴木醇先生記念出版会（早稲田大学教育学部地学教室内）。
- 薄田千穂
- 2009 「『龍南会雑誌』と雑誌部委員—明治期の動向を中心として」『熊本大学五校記念館館報』 1: 95-101。

角南聡一郎

- 2005 「日本植民地時代台湾における物質文化研究の軌跡—雑誌『南方土俗』と『民俗台湾』の検討を中心に」『台湾原住民研究』9: 131-155。  
2008 「植民地における物質文化への興味」芹沢知広・志賀市子編『日本人の中国民具収集—歴史的背景と今日的意義』47-81ページ、風響社。

住谷一彦編

- 1978 「山本二三丸教授略歴・研究業績」『立教経済学研究』32(3): iv-xv。

瀬名波長宣

- 1942 「岩崎翁のことども」『南島』2: 112-117。

全国蚕種協会編

- 1990 『全国蚕種協会四十年史』全国蚕種協会。

祖父江孝男

- 1976 「人と学問 杉浦健一—ミクロネシア研究の先駆者」『社会人類学年報』2: 142-158。  
1988 「杉浦健一—ミクロネシア研究の泰斗」綾部恒雄編『文化人類学群像3 日本編』333-351ページ、アカデミア出版会。

染木煦

- 2008 『書簡に託した「染木煦のミクロネシア紀行」』求龍堂。

反町茂雄

- 1990 『紙魚の昔がたり—明治大正篇』八木書店。

台北帝国大学土俗・人類学研究室編

- 1935 『台湾高砂族系統所属の研究』上山台湾総督記念事業〔凱風社、1988年〕。

高木一夫

- 1972 「アチックの出版」三一書房編『日本常民生活資料叢書 月報1』3-4ページ、三一書房。

高木史人

- 1987 「関敬吾博士と民間説話研究—「原郷」との係わりから」関敬吾博士米寿記念論文集『民間説話の研究—日本と世界』374-394ページ、同朋舎。

高野宏

- 2009 「日本民俗学における大田植研究の成果と課題」『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』27: 130。

高橋文太郎

- 1934 「奄美十島及大島に於る民具—主として運搬具と使用法」『旅と伝説』80: 1-13。  
1935 『武蔵保谷村郷土資料（アチックミュージアム彙報 第5）』アチックミュージアム。  
1937 『秋田マタギ資料（アチックミュージアムノート 第12）』アチックミュージアム。  
1942 「後記」高橋文太郎『輪標（わかんじき）』58ページ、アチックミュージアム。

高村公之

- 1996 「日本における様式論の創始者中谷治宇二郎—その生涯と業績」『古代文化』48(6): 358-372。

高元厚憲

- 2016 『奄美の建築家・民族研究家—渡武彦伝』南海日日新聞社。

## 参考文献

高山龍三

- 1960 「トルボ地域の農牧チベット人経済 (Torbo 民族誌 その2)」『民族学研究』24(3):197-233。  
1980 「チベット人民具の研究 予報」『大阪工業大学 中研所報』13(3): 216-231。  
1993 「チベット人民具の研究 2」『大阪工大摂南大学 中研所報』26(3): 167-179。

田中登一

- 2006 「インタビュー 森脇太一の伝えたもの」『広報ごうつ』657: 4-5。  
2007 「森脇太一と石見の昔話 — 生誕100年記念文庫展と講演会開催」『日本口承文芸学会 伝え』40: 4-5。

谷本晃久

- 2014 「林善茂先生座談 — アイヌ農耕研究を振り返って」『北方人文研究』7: 109-121。

田原久

- 1985 「文化財保護法と宮本先生」宮本馨太郎編『民俗博物館論考』279-289ページ、慶友社。

田村善次郎編

- 2012 『宮本常一日記 青春篇』毎日新聞社。

秩父鉄道株式会社 井上啓蔵編

- 1950 『秩父鉄道五十年史』秩父鉄道株式会社。

朝鮮農村社会衛生調査会編

- 1940 『朝鮮の農村衛生』岩波書店 [韓国語版 = 韓国国立民俗博物館、2008年]。

塚原蓼州 (吉岡重三 現代文訳)

- 1979 『新藍香翁』青淵洪沢栄一記念事業協賛会・深谷市八基公民館建設推進協議会。

常木晃

- 2010 「増田精一先生のご逝去を悼む」『筑波大学先史学・考古学研究』21: 口絵ページ。

角田文衛

- 1994 「三宅宗悦博士」角田文衛編『考古学京都学派』169-172ページ、雄山閣出版。

坪郷英彦

- 2014 「中村俊亀智・孚美文化人類学関連資料」『やまぐち学の構築』10: 1-24。

鶴見太郎

- 1998 『柳田国男とその弟子たち — 民族学を学ぶマルクス主義者』人文書院。

東京銀行

- 1984 『横浜正金銀行前史 第6巻』東京銀行。

東京芸術大学石井教授研究室編

- 1954 『彫刻家 萩原碌山』信濃教育会。

東京国立文化財研究所美術部編

- 1978 『日本美術年鑑 1976年版』東京国立文化財研究所。

東京都写真美術館編

- 1997 『浜谷浩 — 写真の世紀』東京都写真美術館。

東京にふる里をつくる会編

- 1977 『豊島区の歴史』名著出版。

東京国立文化財研究所編

1973 『日本美術年鑑 昭和47年版』大蔵省印刷局。

東南アジア稲作民族文化総合調査団編

1959 『メコン紀行— 民族の源流をたずねて』読売新聞社。

東邦銀行編

2011 『東邦銀行70年史』東邦銀行。

東宝五十年史編纂委員会編

1982 『東宝五十年史』東宝。

遠野物語研究所編

2002 『遠野物語研究 第6巻 特集 遠野昔話の父、佐々木喜善の世界— 佐々木喜善没後70年記念』遠野物語研究所。

土肥恒之

2012 『西洋史学の先駆者たち』中央公論社。

富木友治

1959 「武藤鉄城」大間知篤三・岡正雄・桜田勝徳・関敬吾・最上孝敬編『生業と民俗（日本民俗学大系 第5巻）』401-402ページ、平凡社。

鳥居博士顕彰会

1965 『図説鳥居龍蔵伝』岩波書店。

鳥居龍蔵を語る会

2011 『鳥居龍蔵研究 創刊号』鳥居龍蔵を語る会。

永江真夫

2014 「大正期「早良炭田」における炭鉱業— 福岡炭坑の事例」『福岡大学経済学論叢』58(3-4): 99-174。

長岡市立科学博物館編

1970 『雪国の民具— 旧積雪科学館収蔵民具目録』財団法人積雪研究会。

中尾佐助

2004 『中尾佐助著作集 第Ⅲ巻 探検博物学』北海道大学図書刊行会。

中生勝美

2016 『近代日本の人類学史— 帝国と植民地の記憶』風響社。

永島裕三

1957 「噫歌川節雄君」『柏窓』19: 10-11。

長瀬達也

2003 「秋田県自由画教育の研究(1)— 自由画教育以前の秋田県図画教育について」『美術教育学』24: 261-273。

中園英助

1995 『鳥居龍蔵伝』岩波書店。

中野卓・桜井厚編

1995 『ライフヒストリーの社会学』弘文堂。

中牧弘允

2010 「高野山のしゃもじ」『月刊みんぱく』34(3): 11。

参考文献

中村寅一

1954 「『落原』の思い出」『信濃』6(1): 60-62。

1981 『村の生活の記録 下』刀水書房。

中村ひろ子

1992 「くらしの中の運搬具—調査方法をめぐって」神奈川大学日本常民文化研究所編『運搬具—背負う・提げる・載せる・曳く』5-7ページ、平凡社。

中谷治宇二郎

1972 『中谷治宇二郎集（日本考古学選集24）』

中山正則編

1956 『柏葉拾遺』柏窓会。

成田茂編

1950 「住所録」『網町通信』6: 4。

南山大学小林知生教授退職記念会編

1978 『考古学論文集—小林知生教授退職記念』南山大学考古学研究室。

南洋経済研究所編

2004 『南洋資料—人物誌・年表（アジア学叢書109）』大空社。

新潟県史編さん室編

1981 『新潟県史科目録 謄写版 第16集 山貝如松家文書』新潟県史編さん室。

新潟日報事業社編

1977 『新潟県大百科事典 上巻』552ページ、新潟日報事業社。

西東京市・高橋文太郎の軌跡を学ぶ会編

2008 『高橋文太郎の真実と民族学博物館—埋もれた国立民族学博物館前史』西東京市・高橋文太郎の軌跡を学ぶ会。

2010 『渋沢敬三・高橋文太郎と民族学博物館—保谷にあった日本初の野外展示物をもつ民族学博物館』西東京市・高橋文太郎の軌跡を学ぶ会。

西村朝日太郎（小川博編）

2003 『海洋民族学論攷』岩田書院。

西村亨編

1988 『折口信夫事典』大修館書店。

日外アソシエーツ編

2004 『20世紀日本人名事典』日外アソシエーツ。

2011 『明治大正人物事典Ⅱ 文学・芸術・学術編』日外アソシエーツ。

日外アソシエーツ編集部編

2010 『新撰 芸能人物事典 明治～平成』日外アソシエーツ。

日本観光文化研究所編

1989 『観文研二十三年のあゆみ』日本観光文化研究所。

日本経営史研究所編

1988 『日本アイ・ビー・エム50年史』日本アイ・ビー・エム。

日本興信所連合会編集部編

1978 『全日本興信録 皇太子御成婚二十周年記念版』日本興信所連合会。

日本順益台湾原住民研究会編

2002 『台湾原住民研究概覧 縮刷版』 風響社。

日本常民文化研究所編

1943 『おしらさま図録』 日本常民文化研究所。

日本青年館編

1981 『熊谷辰治郎とその時代』 日本青年館。

日本農業研究所編

1969 『石黒忠篤伝』 岩波書店。

日本民族学会編

1955 「昭和二十九年度 九学会連合彙報」『人類科学』 7: 209-217。

1966 『日本民族学の回顧と展望』 日本民族学会。

ニュー・サイエンス社編

2015 『月刊 考古学ジャーナル』 673 (江坂輝弥先生追悼号)、ニュー・サイエンス社。

額田巖

1953 『結びの文化』 民族学博物館。

練馬区教育委員会生涯学習課文化財係

1997 「最新発掘出土品展を開催」『ねりまの文化財』 36: 1。

野林厚志

2010 「研究のための博物館資料の収集調査—馬淵東一が台湾原住民族の物質文化によせた社会人類学的関心と歴史人類学的関心の二つの側面」笠原政治編『馬淵東一と台湾原住民族研究』 135-170ページ、風響社。

野村純一・三浦佑之・宮田登・吉川祐子編

1998 『柳田国男事典』 勉誠出版。

柏竈社

1940 「HAKUSO NEWS」『季刊アチック』 1: 9。

柏窓社

1957 「悼歌川節雄氏」『柏窓』 19: 10。

羽毛田智幸

2015a 「薩南十島調査とその後への影響」神奈川大学国際常民文化研究機構編『国際常民文化研究叢書10 アチックフィルム・写真にみるモノ・身体・表象 [論文編]』 161-204ページ、神奈川大学国際常民文化研究機構。

2015b 「アチック・ミュージアムにおける出版と写真」『歴史と民俗』 31: 241-270。

橋本白水

1930 『台湾統治と其功労者』 南国出版協会。

秦郁彦編

2001 『日本官僚制総合事典』 東京大学出版会。

2002 『日本近現代人物履歴事典』 東京大学出版会。

浜谷浩

1971 「四十六」 浜谷浩『潜像残像』 154ページ、河出書房新社。

## 参考文献

- 早川孝太郎（宮本常一・宮田登・須藤功編）  
2003 『早川孝太郎全集 第12巻』 未来社。
- 林英夫先生お別れの会事務局編  
2007 『林英夫先生を偲んで』 林英夫先生お別れの会事務局。
- 阪急電鉄株式会社編  
1982 『75年のあゆみ—写真編』 218-220ページ、阪急電鉄株式会社。
- 東恩納寛惇  
1949 「伊波君の思出」『文化沖繩』 10: 2-3。
- 土方久功（須藤健一・清水久夫編）  
2012 『土方久功日記 IV(国立民族学博物館研究報告108)』 国立民族学博物館。
- 一橋大学経済研究所附属社会科学統計情報研究センター編  
2010 『小野武夫文書 I — 近世文書を中心とする収集資料』 一橋大学経済研究所附属社会科学統計情報研究センター。
- 「百人が語る丸山学」編集委員会編  
1971 『百人が語る丸山学』 かつぱらんど。
- 蛭川隆夫編  
2009 『針葉樹文庫解題』 針葉樹会。
- 福井勝義  
1984 「認識人類学」綾部恒雄編『文化人類学15の理論』 219-241ページ、中央公論社。  
1988 「コンクリン—「新しい民族誌」の開拓者」綾部恒雄編『文化人類学群像2 外国編2』 313-331ページ、アカデミア出版会。
- 福田アジオ  
2009 『日本の民俗学—「野」の学問の二〇〇年』 吉川弘文館。
- 福富文哉  
1963 「水上一久先生を偲ぶ—附 水上一久教授略歴・主要論文目録」『北陸史学』 11-12: 74-76。
- 福富忠男  
1966 『あぶく』 国土社。
- 藤井裕之  
2010 「アチック・ミュージアムの足半収集の経緯」『国立民族学博物館研究報告』 35(2): 363-393。
- 藤井麟太郎編  
1964 『第五十四版 日本紳士録』 交詢社。
- 藤岡保夫・石川栄吉・西村朝日太郎・中沢勇・宮本延人  
1960 「第2次東南アジア稲作民族文化総合調査概要」『民族学研究』 24(4): 371-379。
- 藤本英夫  
1982 『知里真志保の生涯』 新潮社。  
1994 『知里真志保の生涯』 草風館。
- 古野清人  
1980 『宗教人類学五十年』 耕土社。

妻始美

2010 『1920年代における在日朝鮮人留学生に関する研究—留学生・朝鮮総督府・「支援」団体』一橋大学学位論文。

北陸銀行調査部百年史編纂班編

1978 『創業百年史』北陸銀行。

北海道大学理学部地質学鉱物学教室

1970 「鈴木醇先生を悼む」『地質学雑誌』76(11): 574-576。

北海道教育庁振興部文化課編

1974 『オロッコ・ギリヤーク民俗資料調査報告書』北海道文化財保護協会。

穂積重遠

1929 『父を語る—海辺での思ひ出』穂積重遠。

穂積重行

1988 『明治一法学者の出発—穂積陳重をめぐって』岩波書店。

1989 『穂積歌子日記 1890-1906—明治一法学者の周辺』みすず書房。

堀江朋子

2003 『白き薔薇よ—若林つやの生涯』図書新聞。

堀江俊一

2011 「杉浦健一講演遺稿解題」山路勝彦編『日本の人類学—植民地主義、異文化研究、学術調査の歴史』733-742ページ、関西学院大学出版会。

前川理子

2011 「加藤玄智の神道論—宗教学の理想と天皇教のあいだで(1)」『神奈川大学人文学研究所報』46: 85-100。

前田長八

1973 「藤木さんの思い出」三一書房編『日本常民生活資料叢書 月報20』1-3ページ、三一書房。

松井健

1991 『認識人類学論攷』昭和堂。

松井かおる

2012 「武蔵野の歴史と考古学—江戸東京たても園収蔵品展」『江戸東京たても園だより』40: 3-4。

松岡譲

1958 「お山の博物館」『NHK(長岡市立科学博物館館報)』1: 6-12。

松村利規

2017 『野間吉夫と九州の民芸(福岡市博物館企画展示解説リーフレット493)』福岡市博物館。

松本市立博物館・日本民俗資料館編

2003 『胡桃沢コレクション—博物館のお宝ってどんなもの? 松本市文化芸術振興条例制定記念』松本市立博物館・日本民俗資料館。

松本信広

1935 「明石貞吉「『老頼雅伝説の安南異伝』の靈物と天文との関係に就いて」付記」『民族学研究』1(2): 354-360。

## 参考文献

松本三喜夫

1996 『野の手帖—柳田国男と小さき者のまなざし』青弓社。

馬淵悟

2005 「宮本延人の研究」日本順益台湾原住民研究会編『台湾原住民研究概覧—日本からの視点』pp.80-81、風響社。

馬淵東一

1974-1988 『馬淵東一著作集（全3巻+補巻1）』社会思想社。

三木健

1983 「岩崎卓爾」沖縄タイムス社編『沖縄大百科事典 上』259-260ページ、沖縄タイムス社。

三須田善暢・林雅秀・庄司知恵子・高橋正也

2015 「土屋喬雄「石神調査ノート」と有賀喜左衛門モノグラフの比較検討」『手県立大学盛岡短期大学部研究論集』17: 119-123。

南川金一

2015 「お茶の水時代の人・田辺主計のこと」『緑爽会会報』140: 2-4。

三宅宗悦

1934a 「薩南十島探訪挿話」『ドルメン』3(7): 44-46。

1934b 「南島の旅 三」『ドルメン』3(8): 54-59。

1934c 「南島の旅 四」『ドルメン』3(9): 58-71。

1934d 「南島の旅 五」『ドルメン』3(10): 54-60。

1934e 「南島の旅 六」『ドルメン』3(11): 61-68。

1934f 「南島の旅（完）」『ドルメン』3(12): 47-50。

宮坂宥洪

2012 「十三仏信仰の意義」『現代密教』23: 187-217。

宮本馨太郎

1943 「岩倉市郎氏の逝去」『民族学研究』9(12): 1155-1156。

宮本馨太郎

1953 『本邦在来鎌の調査研究』民族学博物館。

1958 「揩衣 宮本勢助 略伝」大間知篤三・岡正雄・桜田勝徳・関敬吾・最上孝敬編『生活と民俗 I（日本民俗学大系 第6巻）』394-396ページ、平凡社。

1963 「民具研究の回顧と展望」『物質文化』2: 1-22。

1985 『民俗博物館論考』慶友社。

宮本馨太郎編

1951a 『民族学博物館報 第1号』財団法人日本民族学協会附属民族学博物館。

1951b 『民族学博物館報 第2号』財団法人日本民族学協会附属民族学博物館。

宮本常一

1971 『宮本常一著作集10 忘れられた日本人』未来社。

1979 『民具学の提唱』未来社。

1985 『周防大島昔話集』瀬戸内物産出版部。

1997 『宮本常一著作集40 周防大島民俗誌』未来社。

2005 『宮本常一写真・日記集成（全2巻+別巻1）』毎日新聞社。

- 2012 『宮本常一著作集51 私の学んだ人』 未来社。
- 宮本延人編
- 1968 『バリ島の研究—第二次東南アジア稲作民族文化総合調査報告』 東海大学出版会。
- 宮本瑞夫
- 2005 「宮本勢助・馨太郎—民具研究の軌跡」 神奈川大学日本常民文化研究所編『歴史と民俗』19: 9-24。
- 宮本瑞夫・佐野賢治・北村皆雄・原田健一・岡田一男・高城玲編
- 2016 『DVDブック 甦る民俗映像—洪沢敬三と宮本馨太郎が撮った1930年代の日本・アジア』 岩波書店。
- 宮良當章
- 1998 「父・當莊を語る」 石垣繁編『七転八起—宮良當莊博士生誕百年記念誌』29-42ページ、宮良當莊生誕百年記念事業期成会。
- 三吉朋十
- 1979-1982『明治・大正・昭和三代実録（全3巻）』 三吉朋十。
- 民族学博物館編
- 1949 『民族学博物館彙報 第1号 財団法人日本民族学協会附属民族学博物館概要』 民族学博物館。
- 向山雅重（櫻井弘人翻刻）
- 2013 「向山雅重『野帳』翻刻」『伊那民俗研究』20: 67-81。
- 無署名
- 1934 「奄美十島学術探訪団」『ドルメン』3(7): 49。
- 1955 「民族学博物館だより デンマーク国立博物館との資料交換」『民族学研究』19(2): 172-174。
- 1975 「著者略歴」池田弥三郎・大藤時彦・牧田茂・和歌森太郎編『日本民俗誌大系4 近畿』496-500ページ、角川書店。
- 1980 「鈴木二郎教授略歴・主要業績目録」『人文学報』143: 1-14。
- 1982 「清水潤三先生著作目録」『史学』52(2): 212, 224, 258, 272, 296, 335-336。
- 1983 「宮尾しげを理事逝去される」『浮世絵芸術』76: 13-14。
- 1984 「市川信次先生著作目録抄」『貝塚』34: 2。
- 1984 「市川信次先生略歴抄」『貝塚』34: 1。
- 1987 「林英夫先生の略歴と著作略目録」『史苑』47(1): 57-61。
- 1989 「御嶽山金剛院第二十二世清水亮昇和尚略歴」『金剛院だより』2: 4。
- 1993 「箱山貴太郎先生略年譜・著作目録」『上田盆地』32: 72-82。
- 1997 「鈴木二郎先生略歴」『Sociologica』22(1): 21-51。
- 1998 「梅原達治先生 略歴・主要著作目録」『札幌法学』9(2): 231-235。
- 1933 「消息」『ウタリ之友』5月号（掲載ページ不明）[小川正人・山田伸一編『アイヌ民族近代の記録』204-205ページ、草風館、1998年]。
- 2006 「『準備室日記』の全文翻刻」丑木幸男編『「日本実業史博物館構想による産業経済コレクション」の総合的調査研究』研究成果報告書 本文編』136-229ページ、国文学研究資料館。

参考文献

村上市教育委員会編

1970 『村上城主歴代譜 稿本（底本 大滝新藏氏所蔵 江見啓斎手写本）』村上市教育委員会。

村松清和

2015 「三河の文化を訪ねて 第101回 奥三河の郷土史・民俗学の先駆者 夏目一平」『教育と文化』107: 4-7。

室井康成

2007 「「個人」を育む民俗学—山口麻太郎における「政治教育」の実践とその意義をめぐって」『日本民俗学』252: 193-208。

最上孝敬

1958 「榎木範行略伝」大間知篤三・岡正雄・桜田勝徳・関敬吾・最上孝敬編『芸能と娯楽（日本民俗学大系 第9巻）』338-339ページ、平凡社。

元兼正浩

1995 「明治後期における「優良」小学校長の履歴」『教育経営教育行政学研究紀要』2: 51-79。

守屋幸一編

2012 『明治・大正期の人類学・考古学者伝—板橋区立郷土資料館所蔵 石田収蔵氏旧蔵はがき資料集』板橋区立郷土資料館。

森脇太一編

1937 『邑智郡誌』島根県邑智郡長谷村。

柳田国男研究会編

1988 『柳田国男伝』三一書房。

山口和雄

1943 『幕末貿易史』中央公論社。

1960 『日本経済史講義』東京大学出版会。

1969 「伊豆川浅吉さんとその業績」『漁業経済研究』17: 70-76。

山口和雄先生古稀記念誌刊行会編

1978 『黒船から塩の道まで—研究史的回顧』日本経営史研究所。

山口敏

1990 「須田昭義先生をしのぶ」『人類学雑誌』98(4): 381-383。

山口敏編

2005 『日本の人類学文献選集 近代篇 第8巻 昭和前期の研究者』クレス出版。

山口輝久

1998 「解説—岡茂雄という人」岡茂雄『新編 炉辺山話』348-355ページ、平凡社。

山口昌男

1979 『日本民俗文化大系 8 石田英一郎』講談社。

山下清三

1990 『文学の虹立つ道』富士書店。

山下久男（石井正己編）

2000 『雪高き閉伊の遠野の物語せよ』遠野市立博物館。

山田野理夫

1974 『遠野物語の人—わが佐々木喜善伝』宝文館出版。

山梨県立図書館編

1964 『甲州文庫目録(上)』山梨県立図書館。

1971 『甲州文庫目録(下)』山梨県立図書館。

山本七平

1987 『近代の創造—渋沢栄一思想と行動』PHP研究所。

八幡一郎編

1956 『民族学博物館々報 第18号』財団法人日本民族学協会附属民族学博物館。

1958 『民族学博物館々報 第20号』財団法人日本民族学協会附属民族学博物館。

1959 『民族学博物館々報 第22号』財団法人日本民族学協会附属民族学博物館。

1960 『民族学博物館々報 第24号』財団法人日本民族学協会附属民族学博物館。

湯浅照弘

1998 「民具マンスリー30周年の思い出(9)—河岡武春さんとの出会い」『民具マンスリー』31(2): 23-24。

弓野義道

1957 「歌川さん」『柏窓』19: 12-13、柏窓社。

横浜市歴史博物館・神奈川大学日本常民文化研究所編

2002 『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問』横浜市歴史博物館。

横山要編

1982 『樋畑雪湖年譜』横山要。

吉岡高吉

1939 『土佐室戸浮津組捕鯨実録(アチックミュージアム彙報 第35)』アチックミュージアム。

吉開将人

2006 「東亜考古学と近代中国」岸本美緒編『岩波講座「帝国」日本の学知3 東洋学の磁場』135-174ページ、岩波書店。

らくだ会本部編

1973 『高原千里—内蒙古回顧録』らくだ会本部。

李文雄

1996 「異国での故郷発見—民博の蔚山コレクション」『民博通信』73: 16-29。

2008 「付録 姜廷澤先生の生涯と学問世界」『植民地朝鮮の農村社会と農業経済』YBM Sisa(韓国語)。

渡部小勝

1964 「追憶」慶友社編『渋沢敬三さんの思い出—』6-8ページ、慶友社。

1973 「渋沢先生 武藤先生 私」三一書房編『日本常民生活資料叢書 月報14』3-4ページ、三一書房。

渡辺誠

2015 「追悼 江坂輝弥先生の学問と業績」『古代文化』67(2): 321-323。

参考文献

(DVD ビデオ)

国文学研究資料館

2006-2007 『復活！ 日本実業史博物館 ― 調査報告』 国文学研究資料館。

(雑誌)

『アチックマンズリー』 アチックミュージアム。

『竜門雑誌』 竜門社。

(新聞・官報)

大蔵省印刷局編 『官報』。

『朝日新聞』 朝日新聞社。

『読売新聞』 読売新聞社。

『毎日新聞』 毎日新聞社。

『熊本日日新聞』 熊本日日新聞社。

衆議院事務局編 『第6国会衆議院地方行政委員会議事録 第5号』 衆議院事務局。